

勢力を強めた高気圧と乾燥空気の流れ込みによる 日本海ダクトオープン！

2001年7月28日 JG0TEV 中村 豊

1.はじめに

7月28日は日本付近の高気圧の勢力が一時的に強まり、3～7エリア間でオープンするなどダクト発生による各エリア間オープンが確認されました。

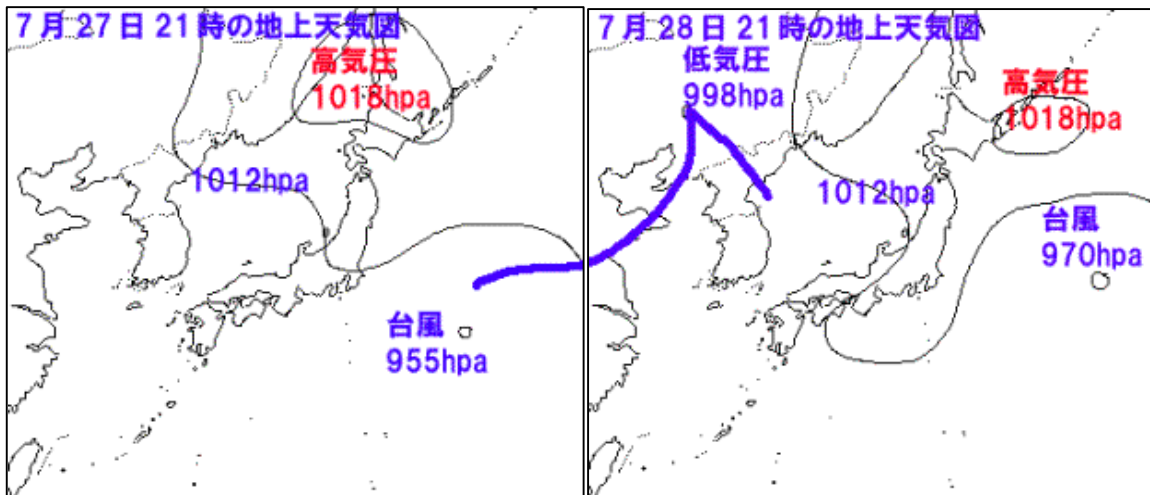
今回もダクト発生の根拠とメカニズムを気象解析によって裏付けます。



2.気象解析からダクト発生についての裏付けを行う

(1)地上天気図の移り変わりからダクトの発生を解析する

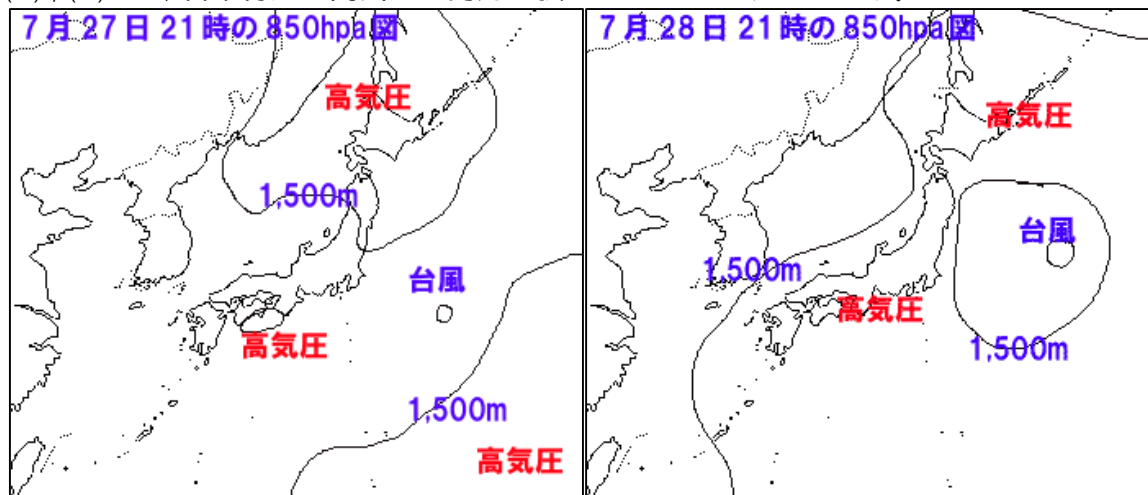
27日から28日にかけて高気圧が北海道を通過、28日には1012hpaの等圧線は東日本一帯を覆いました。



(2) 850hpa図から最下層大気の状態からダクトの発生を解析する

地上天気図と同様、28日にかけて1,500mの等高度線は本州付近を広く覆うようになりました。

(1), (2) から、日本付近の高気圧の勢力は強まったことがよくわかります。



(3) 500hpa渦度図から中層大気の状態からダクトの発生を解析する

中層大気の500hpa渦度図を見ると、27日から28日にかけては広く負渦度領域に覆われていたことがわかります。

中層大気では負渦度領域の広がりによって大気の状態は安定していたと考えられます。

